

# CASBEE® 熊本《新築》【性能表示】

■ 建物概要			■ 外観	
建物名称	吉野石膏(株)熊本配送センター		階数	地上1F
建設地	熊本県上益城郡益城町大字古閑97		構造	S造
用途地域	市街化調整区域、法22条指定地域		平均居住人員	XX 人
気候区分			年間使用時間	XXX 時間/年
建物用途	工場		評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年4月	予定	評価の実施日	2016年8月1日
敷地面積	5,277 m <sup>2</sup>		作成者	
建築面積	2,448 m <sup>2</sup>		確認日	
延床面積	2,525 m <sup>2</sup>		確認者	

## 1 CASBEE評価結果

■ 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)		■ ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出性能(ランク表示)																																													
<p>BEE = 1.0</p> <p>■ BEE(環境効率) = <math>\frac{Q(\text{環境品質})}{L(\text{環境負荷})}</math></p> <p>■ 環境効率評価基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">ランク</th> <th rowspan="2">ランク表示</th> <th rowspan="2">評価</th> <th colspan="2">判定値</th> </tr> <tr> <th>BEE値</th> <th>Q値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>S</td> <td>★★★★★</td> <td>素晴らしい</td> <td>3.0以上</td> <td>50以上</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>★★★★</td> <td>大変良い</td> <td>1.5以上3.0未満</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>B+</td> <td>★★★</td> <td>良い</td> <td>1.0以上1.5未満</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>B-</td> <td>★★</td> <td>やや劣る</td> <td>0.5以上1.0未満</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>★</td> <td>劣る</td> <td>0.5未満</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>		ランク	ランク表示	評価	判定値		BEE値	Q値	S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上	A	★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—	B+	★★★	良い	1.0以上1.5未満	—	B-	★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—	C	★	劣る	0.5未満	—	<p>■ ライフサイクルCO<sub>2</sub>排出性能評価基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>判定値(排出率)</th> <th>ランク表示</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>30%以下</td> <td>☆☆☆☆☆</td> </tr> <tr> <td>30%超60%以下</td> <td>☆☆☆☆</td> </tr> <tr> <td>60%超80%以下</td> <td>☆☆☆</td> </tr> <tr> <td>80%超100%以下</td> <td>☆☆</td> </tr> <tr> <td>100%超</td> <td>☆</td> </tr> </tbody> </table>		判定値(排出率)	ランク表示	30%以下	☆☆☆☆☆	30%超60%以下	☆☆☆☆	60%超80%以下	☆☆☆	80%超100%以下	☆☆	100%超	☆
ランク	ランク表示				評価	判定値																																									
		BEE値	Q値																																												
S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上																																											
A	★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—																																											
B+	★★★	良い	1.0以上1.5未満	—																																											
B-	★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—																																											
C	★	劣る	0.5未満	—																																											
判定値(排出率)	ランク表示																																														
30%以下	☆☆☆☆☆																																														
30%超60%以下	☆☆☆☆																																														
60%超80%以下	☆☆☆																																														
80%超100%以下	☆☆																																														
100%超	☆																																														
<p>排出率</p> <p><b>69%</b></p>																																															

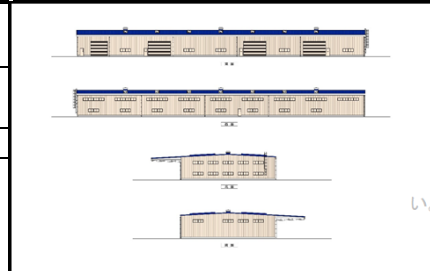
## 2 熊本県重点評価結果

■ 重点事項総合評価		評価点												
		75												
【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進	88.8	<p>■ 熊本県重点評価基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>判定値(評価点)</th> <th>ランク表示</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100点以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td>80点以上100点未満</td> <td></td> </tr> <tr> <td>60点以上80点未満</td> <td></td> </tr> <tr> <td>40点以上60点未満</td> <td></td> </tr> <tr> <td>40点未満</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※評価点は、100点以上が推奨です。</p>	判定値(評価点)	ランク表示	100点以上		80点以上100点未満		60点以上80点未満		40点以上60点未満		40点未満	
判定値(評価点)	ランク表示													
100点以上														
80点以上100点未満														
60点以上80点未満														
40点以上60点未満														
40点未満														
【重点事項2】 安全安心で暮らしやすい社会の実現	50.0													
【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全	75.0													
【重点事項4】 循環型社会の実現	72.7													

# CASBEE® 熊本《新築》 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 ■ 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2014(v.2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	吉野石膏(株)熊本配送センター	階数	地上1F
建設地	熊本県上益城郡益城町大字古閑9	構造	S造
用途地域	市街化調整区域、法22条指定地域	平均居住人員	XX 人
気候区分		年間使用時間	XXX 時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年4月 予定	評価の実施日	2016年8月1日
敷地面積	5,277 m <sup>2</sup>	作成者	
建築面積	2,448 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	2,525 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	69%
③上記+②以外の	69%
④上記+	69%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.5**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.6

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.9

### LR 環境負荷低減性

**LR のスコア = 3.4**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

### 3 熊本県重点評価結果

重点事項総合評価 **評価点 = 75**

重点事項1: 温室効果ガス排出量削減の推進 **評価点 = 88.8**

重点事項2: 安全安心で暮らしやすい社会の実現 **評価点 = 50.0**

重点事項3: 県の地域資源の有効活用と保全 **評価点 = 75.0**

重点事項4: 循環型社会の実現 **評価点 = 72.7**

#### 重点事項の評価(レーダーチャート)

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# CASBEE®熊本《新築》【配慮事項】

## 4 設計上の配慮事項

### 総合

主に周囲建物との調和、F☆☆☆☆建材の選定などを考慮している。

### Q1 室内環境

建物全体でF☆☆☆☆建材を採用している。

### Q2 サービス性能

倉庫という用途上、広く連続した空間とし、配線等の更新性の高さも考慮している。

### Q3 室外環境（敷地内）

周辺建物と調和のとれた外観形成を考慮している。

### LR1 エネルギー

主たるエネルギー使用設備は照明のみだが、比較的省エネ性の高い照明機器を採用している。

### LR2 資源・マテリアル

使用する建材は、有害物質を含まない材料を採用している。

### LR3 敷地外環境

敷地内に駐車・転回スペースを十分に確保し、敷地外に交通負荷が生じないように考慮している。

### その他

スコアシート 実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
<b>Q 建築物の環境品質</b>						<b>2.5</b>
<b>Q1 室内環境</b>			<b>0.30</b>	-	-	<b>3.3</b>
<b>1 音環境</b>		<b>2.6</b>	0.23	-	-	<b>2.6</b>
1.1 騒音		3.0	0.40	-	-	
1.2 遮音		3.0	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	-	
2 界壁遮音性能		-	-	3.0	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	-	
1.3 吸音		1.0	0.20	3.0	-	
<b>2 温熱環境</b>		-	-	-	-	-
2.1 室温制御		-	-	-	-	
1 室温		-	-	3.0	-	
2 外皮性能		-	-	3.0	-	
3 ゾーン別制御性		-	-	-	-	
2.2 湿度制御		-	-	3.0	-	
2.3 空調方式		-	-	3.0	-	
<b>3 光・視環境</b>		<b>2.3</b>	0.38	-	-	<b>2.3</b>
3.1 昼光利用		4.0	0.30	-	-	
1 昼光率		-	-	3.0	-	
2 方位別開口		-	-	3.0	-	
3 昼光利用設備	天窓	4.0	1.00	3.0	-	
3.2 グレア対策		2.0	0.30	-	-	
1 昼光制御		2.0	1.00	3.0	-	
3.3 照度		2.0	0.15	3.0	-	
3.4 照明制御		1.0	0.25	3.0	-	
<b>4 空気質環境</b>		<b>4.7</b>	0.38	-	-	<b>4.7</b>
4.1 発生源対策		5.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆の積極的な活用	5.0	1.00	3.0	-	
2 アスベスト対策		-	-	-	-	
4.2 換気		4.0	0.30	-	-	
1 換気量		-	-	3.0	-	
2 自然換気性能	自然換気有効開口面積が1/30以上	4.0	1.00	3.0	-	
3 取り入れ外気への配慮		-	-	3.0	-	
4.3 運用管理		5.0	0.20	-	-	
1 CO <sub>2</sub> の監視		-	-	-	-	
2 喫煙の制御	建物が禁煙	5.0	1.00	-	-	
<b>Q2 サービス性能</b>		-	<b>0.30</b>	-	-	<b>2.6</b>
<b>1 機能性</b>		<b>1.7</b>	0.40	-	-	<b>1.7</b>
1.1 機能性・使いやすさ		-	-	-	-	
1 広さ・収納性		-	-	3.0	-	
2 高度情報通信設備対応		-	-	3.0	-	
3 バリアフリー計画		-	-	-	-	
1.2 心理性・快適性		1.5	0.50	-	-	
1 広さ感・景観		-	-	3.0	-	
2 リフレッシュスペース		2.0	0.50	-	-	
3 内装計画		1.0	0.50	-	-	
1.3 維持管理		2.0	0.50	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		2.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		2.0	0.50	-	-	
3 衛生管理業務		-	-	-	-	
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>3.1</b>	0.30	-	-	<b>3.1</b>
2.1 耐震・免震		3.0	0.50	-	-	
1 耐震性		3.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.4	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.40	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.40	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	アルミ亜鉛合金メッキ鋼板	5.0	0.20	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		-	-	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		-	-	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		-	-	-	-	

2.4 信頼性			3.0	0.20	-	-	
1	空調・換気設備		-	-	-	-	
2	給排水・衛生設備		-	-	-	-	
3	電気設備		3.0	1.00	-	-	
4	機械・配管支持方法		-	-	-	-	
5	通信・情報設備		-	-	-	-	
3 対応性・更新性			3.3	0.30	-	-	3.3
3.1 空間のゆとり			4.6	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	階高3.9m以上	5.0	0.60	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率0.14	4.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり			2.0	0.30	3.0	-	
3.3 設備の更新性			3.4	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		-	-	-	-	
2	給排水管の更新性		-	-	-	-	
3	電気配線の更新性	仕上材を傷めずに更新可能	5.0	0.20	-	-	
4	通信配線の更新性		-	-	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.40	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.40	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.40	-	-	1.9
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			1.5	0.30	-	-	1.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			1.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.4
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.7
1 建物外皮の熱負荷抑制			-	-	-	-	-
2 自然エネルギー利用		トップライト	4.0	0.13	-	-	4.0
3 設備システムの高効率化		BEI 非住宅 0.42 住宅(専有部) 0.83	4.0	0.63	-	-	4.0
集合住宅以外の評価(3a.3b)		BEI=0.42	4.0	1.00	-	-	
集合住宅の評価(3c)			-	-	-	-	
4 効率的運用			3.0	0.25	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		-	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	1.00	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.3
1 水資源保護			3.0	0.20	-	-	3.0
1.1 節水			-	-	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	1.00	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.8	0.60	-	-	2.8
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.11	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.22	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.22	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		-	1.0	0.22	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体と仕上材が容易に分別可能等	5.0	0.22	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			5.0	0.20	-	-	5.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用		対象物質を含有しない建材が4つ以上	5.0	1.00	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			-	-	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		-	-	-	-	
3	冷媒		-	-	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.3
1 地球温暖化への配慮		CO2排出率69%	4.2	0.33	-	-	4.2
2 地域環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
2.1 大気汚染防止		燃焼機器なし	5.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		-	-	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		-	-	-	-	
3	交通負荷抑制	適切な駐車スペースの確保等	4.0	0.50	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.50	-	-	
3 周辺環境への配慮			2.7	0.33	-	-	2.7
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			1.6	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		1.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	

熊本県重点評価結果スコアシート

実施設計段階

建物名称 吉野石膏(株)熊本配送センター

■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2014(v.2.0)

■使用評価マニュアル: CASBEE熊本《新築》2015年版

★熊本県重点評価結果				総合評価点		75
重点事項				評価点	重点事項 重み係数	評価配点
重点項目(配慮項目)		スコア	重み 係数			
① 温室効果ガス排出量削減の推進				88.8	0.40	35.52
Q1-2.1.2	外皮性能	3.0	0.00			
Q1-3.1.3	昼光利用設備	4.0	0.11			
Q1-3.2.1	昼光制御	2.0	0.11			
LR1-1	建物外皮の熱負荷抑制	0.0	0.00			
LR1-2	自然エネルギー利用	4.0	0.22			
LR1-3	設備システムの高効率化	4.0	0.33			
LR2-2.1	材料使用量の削減	2.0	0.11			
LR3-2.3.3	交通負荷抑制	4.0	0.11			
② 安全安心で暮らしやすい社会の実現				50	0.20	10.00
Q2-1.1.3	バリアフリー計画	0.0	0.00			
Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.33			
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.20			
Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	1.5	0.27			
LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	2.0	0.20			
③ 県の地域資源の有効活用と保全				75	0.20	15.00
Q3-2	まちなみ・景観への配慮	3.0	0.50			
LR2-1.1	節水	0.0	0.00			
LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.50			
LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	0.0	0.00			
④ 循環型社会の実現				72.7	0.20	14.54
Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	3.4	0.30			
Q2-3	対応性・更新性	3.3	0.30			
LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10			
LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			
LR2-2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	1.0	0.15			

■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

◆総合評価結果

総合評価点 = (各重点事項の評価点 × 各重点事項の重み係数) の総和  
 ※重み係数の総和は、「1」であること。

◆各重点事項(①~④の項目)

評価点 = (各重点項目のスコア × 各重点項目の重み係数) の総和 × (5/4) × 20  
 ※重み係数の総和は、「1」であること。

※(5/4) × 20 : スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数